

Ⅲ 財政運営の取組の 進捗状況

中期財政フレーム2015(一般会計)【平成28年度予算反映版】

平成28年度予算編成を反映した中期財政フレームは、以下の通りです。

平成28年度予算における基金活用額は、一般財源の増等により、平成27年12月に公表した中期財政フレームから減少しました。また、平成28年度末の市債残高見込みは、臨時財政対策債の発行額が減少したことなどにより、減少しました。

引き続き、中期財政フレームに基づいて、平成29年度以降の予算編成を行っていきます。

(単位:億円)

区分		H27予	H28予	H29見込	H30見込	H31見込	平成29年度以降の試算の条件
歳入	一般財源(臨時財政対策債を含む)	4,726	4,754	4,761	4,763	4,764	社会保障と税の一体改革等による地方交付税の増減見込額を反映 臨時財政対策債は、平成28年度予算同額として設定
	国・道支出金	2,360	2,508	2,587	2,576	2,630	歳出の各事業費に基づき試算
	市債 【臨時財政対策債を含めた場合】	474 【994】	678 【1,183】	660 【1,165】	540 【1,045】	499 【1,004】	
	その他	1,400	1,380	1,397	1,396	1,393	
	基金活用額	50	47	17	16	47	
	合計	9,010	9,367	9,422	9,290	9,333	
歳出	計画事業費	2,153	2,459	2,446	2,202	2,139	アクションプラン計画事業の各年度の見込額に事業の進捗状況を反映
	その他事業費	6,857	6,908	6,976	7,089	7,194	
	義務的経費	4,453	4,546	4,613	4,696	4,788	
	職員費	878	862	844	838	842	職員数や退職手当額の増減見込額を反映
	公債費	874	849	842	859	883	歳入の市債発行額に基づき試算
	扶助費	2,700	2,834	2,928	2,998	3,062	過去実績の平均伸び率等に基づく増減見込額を反映
	他会計繰出金	1,073	1,053	1,048	1,074	1,084	特別会計：過去実績の平均伸び率等に基づき試算 企業会計：建設費や元利償還額の変動等を反映し試算
	その他事業費	1,332	1,309	1,314	1,319	1,322	一部事業で過去実績の平均伸び率等に基づく増減見込み額を反映
	合計	9,010	9,367	9,422	9,290	9,333	

基金活用額の比較	H28予算反映版	50	47	17	16	47
	H27.12月公表版	50	63	0	19	51
	差し引き	0	▲16	17	▲3	▲4

平成28年度予算における基金活用額は、一般財源の増等により、当初のフレームから16億円減少。

市債残高の比較	H28予算反映版	※ 10,141	10,621	11,082	11,404	11,661
	H27.12月公表版	10,173	10,690	11,146	11,497	11,779
	差し引き	▲32	▲69	▲64	▲93	▲118

平成28年度末の一般会計の市債残高は、臨時財政対策債の発行額が減少する見込み等により、当初のフレームから69億円減少。

※ 平成28年1定補正予算計上見込額を反映

事務事業の見直し実施状況

(単位:百万円)

項目	アクションプラン2015 効果額(28~31年度)	28年度予算 効果額	28年度における主な取組内容
歳入・歳出の改革	7,816	1,821	
事務の執行方法の見直し (内部効率)	4,000	989	事務的経費の節約や事業執行方法の工夫による経費節減 等
事務の執行方法の見直し (人件費)	813	85	効率的な職員配置による職員数の見直し
サービス水準のあり方の検討	314	46	特定優良賃貸住宅の管理契約期間の終了に伴う負担金や補助金の見直し
受益者負担の適正化 (使用料・手数料の見直し)	611	125	くみ取・汚泥処分手数料の改定、市営住宅使用料の減免改正 等
企業会計繰出金の見直し	2,078	576	繰出休止項目の継続
財政基盤の強化	8,366	972	
収納率の向上	2,866	506	滞納の未然防止策の推進や滞納整理の強化等による収納率の向上
公有財産の戦略的な活用	5,500	466	土地の貸付、土地の売り払い
合 計	16,182	2,794	

※各項目ごとに数値を四捨五入しているため、合計が一致していないところがあります。

使用料・手数料の改定項目

●アクションプラン上の見直し項目

(単位 千円)

項目	影響額	主な見直し内容 (H27→H28)
北3条広場【利用料金】	—	類似施設等を参考に改定【全面平日412,800円(320円/㎡) → 425,700円(330円/㎡) 等】
札幌駅前通地下広場(交差点広場等)【利用料金】	—	類似施設等を参考に改定【北3条交差点広場(西)平日 90,000円 → 150,000円 等】
札幌駅前通地下広場(大型映像設備)【利用料金】	—	類似施設等を参考に改定【北3条交差点広場(2か所同時使用) 18,000円 → 18,500円 等】
保養センター駒岡宿泊料【利用料金】	2,627	受益者負担率の見直し【老人等宿泊 3,000円→3,200円 等】
札幌コンサートホール【利用料金】	—	類似施設等を参考に改定【大ホール(全日) 182,300円 → 197,700円、小ホール(全日) 98,100円 → 106,000円 等】
堤防使用料	—	道の改定に合わせた改定【管の埋設(0.07m未満)21円/m→23円/m、第1種電柱560円/本→610円/本 等】
市営住宅使用料	91,929	住まいの協議会の答申を踏まえて減免制度を見直し【減免後平均家賃:6,456円 → 9,963円/月】(25～28年度で段階的に改定)
使用料・利用料金 小計	94,556	
夜間急病センター手数料	—	類似施設等を参考に改定 【文書A:630円 → 648円 等】
くみ取手数料・汚泥処分手数料	29,596	受益者負担率100%を目指して段階的に改定 【くみ取り:(常設)280円/27ℓ → 320円/27ℓ、(仮設)430円/27ℓ→530円/27ℓ 汚泥処分:100円/27ℓ → 120円/27ℓ】
手数料 小計	29,596	
捕獲犬等返還収入	425	犬猫の引取手数料の新規設定等 【新規 → 2,100円 等】
その他(負担金、諸収入等) 小計	425	
合 計	124,577	

※ 効果額が「—」となっているものは、当該使用料等の総体に占める割合が微小であるため、効果額を見込んでいない。

●その他の改定項目

(単位 千円)

項目	主な見直し内容 (H27→H28)
札幌コンベンションセンター【利用料金】	類似施設等を参考に改定【大ホール(全日) 418,900円 → 435,100円、特別会議場(全日) 310,900円 → 343,500円 等】
札幌ドーム【利用料金】	類似施設等を参考に改定【クローズドアリーナ(観戦・鑑賞型 全日) 8,000,000円 → 8,316,000円 等】
建築申請手数料	関係法令の改正に合わせた手数料の新設、改定【省エネ性能向上計画の認定のうち事前審査を受けた戸建住宅 4,600円 等】